



幸せな贈り物

## 牛の涙 そして 人間の限界

### 涙の口蹄疫殺処分日記

牛は自分の運命が分かるように大きな目から一筋の涙を流しました。政府が口蹄疫を公式発表した昨年の11月29日以降40日あまり過ぎた今月10日現在、農林水産食品部は殺処分・埋没家畜数が3千358農家の133万9千387匹に増えたと明らかにしました。殺処分の報償金など国庫支出も1兆3千億ウォン台に増えて、口蹄疫ワクチン予防接種対象も10万392農家の215万1千998匹に増加し、国内畜産・酪農業界の被害も大きくなっていて、今後1~2年うちには関連産業の回復が不可能だという危機意識も広がっています。一方、忠南<sup>チュンナム</sup>、天安<sup>チョンアン</sup>と全羅北道<sup>チョルラブクド</sup>、益山<sup>イクサン</sup>で発生した鳥類インフルエンザA1が、二つの地域はもちろん、全南<sup>チョンナム</sup>地域を中心に急速に広がる兆しが見られるなど「家畜伝染病」で全国で非常事態になっています。

こうしたなか、坡州<sup>バジュ</sup>口蹄疫畜産農家ユ・ヨンバン、チョン・ブイム夫婦の息子が書いた「涙の口蹄疫殺処分日記」が多くのネチズンの心を打っています。悲劇は19日夜の12時頃かかってきた坡州市公務員の電話で始まりました。「予防次元の屠殺処分をしなければなりません」子どものように育ててきた正常な牛を殺すということなのか。13年前、夫婦は9頭で始めて121頭まで増やしました。夫婦は、13年間、

毎日のように夏には午前5時、冬には午前6時に畜舎に行きました。ユ氏が注射器に一頭ずつ人工受精をさせれば、10ヶ月後に小牛が生まれました。そのようにして生まれた牛は、すべてチョン氏が直接出産に立ちあってきました。そのような牛を殺さねばならないとは…。戦ったりも、大声を出してみたりも、涙で呼び掛けもしてみました。20日、防疫要員という人々が農場を訪ねてきました。殺さなければならぬことも怖いのですが、さらに怖い話をしました。畜舎のセメントの床を壊して埋めて、牛が食べて寝ていた所を掘ってそこに埋めると…絶対にできないと言いました。私の子121頭を埋めたところで住めと言われたので、夫婦は返事もしなかったし、彼らは帰って行きました。21日午後3時、突然、牛たちが鳴き始めました。白い衛生服を着て注射器を持った男1人と女1人を見て牛が鳴き騒ぎました。親牛たちは、自分の子を探して飛び回りました。「その鳴き声を聞いたら、はらわたが溶けるようで…」午後5時になって、ダンプカーとフォーククレーンがきました。実感しました。躊躇する夫婦に、防疫要員がひざまずいて要請しました。「お願いします」お母さんも、防疫要員も泣きました。夫婦は同意しました。防疫要員が家の庭に注射器を並べ始めました。神経安定剤と安楽死薬が入った注射器121本。

この光景を見守ったユ氏は、息子のドンイル氏を連れて畜舎に行きました。最も良い飼料を選びました。「よく食べたのです。最後の餌なのに、よく食べるのを見たら、むしろ心がちょっと苦しかったです」午後7時から広場に置かれた注射器の数が減り始めました。細くて長い金属針は、首の血管を突き抜けて入りました。注射を打った牛はしばらく歩き回ると、突然、座り込みました。30代と見られる女防疫要員は「どうやら、職業を誤って選択したようだ」と言って泣きながら注射をしました。夜の12時、すべてが終わりました。畜舎が死んだ牛で黄金色に覆われました。ダンプカーが入ってきて、死んだ牛をのせていって、動員された作業員の防疫服を乗せて残っている牛の飼料までのせて送ったら午前4時30分。9時間半で13年間、守ってきたものがすべて消えました。報償金を与えると言われても、借金を返したら残るものはありません。新しく牛を購入する資金を貸してくれると言われますが、夫婦はもう一度牛を飼うつもりがありません。「育てられません。それらをみな殺しておいて、臆面もなく、また小牛を飼えるのでしょうか」そばで言葉なく見守っていたユ氏が背を向けて時計を見ました。午後6時半、餌を与える時間です。畜舎がガラんと空いて3日目になったのですが、相変わらずこの時間になれば時計に目がいきます。餌を食べさせる子をすべて失ったユ氏が苦しうように口を開きました。「私たちは、なにか他の仕事をしてなんとか食べて生きて行くだらう。しかし、生きている牛を人の誤りでこのように埋めなくななくてはならないとは。牛になんの罪があるのか…」とうてい理解できない人間と被造物の苦痛、こういう苦痛の時に、私たちにはどんな人生の知恵が必要なのでしょう。聖書は人間と被造物が受けなければならない苦しみの根本原因と解決策を知らせています。

### 人間と環境の苦しみ、そのはじまりと終わり

聖書には、本来の人間は永遠な幸せを味わいながら生きるように創造されたとありますが、今日の人間の現実はそうではありません。この苦しみの中には私も知らない、かくされた根本的な原因があります。神様とともにいた人間が、サタンの誘惑を受けて神様を離れた以後、人間は滅ぼす者であるサタンに捕われて、奴隷の役割をするようになって、目に見えない霊的問題とともに精神、肉体、家庭、子ども、来世の問題に苦しめられるようになりました。人間が神様を離れてしまった原罪事件は、この世に生きていく被造物にもろいと苦しみをもたらしました。「私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。」(ローマ人への手紙 8:22)

ところで、本当の問題は、このサタンがもたらした問題を人が解決できないという事実です。それで、神様は人間が受けている災いと環境からの苦しみを解決するためにキリストを送ってくださいました。キリストが来られて、人生を苦しみと破滅へ推し進めるサタンのしわざを滅ぼされ、のろいと災いを呼び入れた罪から人間を解放して、苦しみの中でさまよう人生に、神様に会える道を開いてくださいました。人間の苦しみのすべての原因を解決されたのです。キリストであるその方が、まさにイエス様です。だれでもキリスト・イエスを信じる者は、すべての苦しみから自由を得るようになります。これ以上、苦しみがあなたに留まることができません。もし人生の中で苦しみと問題がやってきても、主がその弱さと苦しみまでも担って、より良い計画を成し遂げると約束してくださいました。その祝福のはじまりがイエス様が私の中に主人として入って来られることです。そして、すべての心配を神様にゆだねさえすれば、むしろその苦しみの祝福の機会になるでしょう。今回の大きい苦しみと危機が、むしろすべてのことを回復する「すばらしい機会」になるようにお祈りします。

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。

たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。イザヤ書 41:10

# 小さな実践と 優先順位

「考えを変えれば行動が変わって、行動を変えれば習慣が変わって、習慣を変えれば人格が変わって、人格を変えれば運命が変わる」サムエル・スマイルズ Samuel Smiles の名言を私たちはよく知っています。多くの方が新しい覚悟と決断で新年を始めます。ところが、東西古今を問わず、成功と失敗の差はとても小さいことから始まりました。ジャック・D・ホッジは「習慣の力」という本で、小さい習慣一つが人生全体を変えられることを語っています。「私はあなたの永遠なパートナーだ。私はあなたの最も大きい力になったり、最も重い荷物になったりもする。私はあなたを前進するようにさせたり、あなたを引っぱって失敗するようにさせたりもする。私は全面的にあなたの命令を受ける。あなたがすることの半分程度は私にやってきて、私はそのすべてのことを迅速で正確に片づけられる。私を統制することはとてもやさしい。しかし、断固としていなければならない。どんなことを、どのようにしたいと正確に見せさえすれば、何回か試みたあとに、自動的にそのことを処理する。私は偉大な人をよりいっそう偉大にさせる。失敗者はよりいっそう失敗するようにさせる。私を通して利益を得る事もでき、破壊されることもできる。私をつかんで飼いつつ訓練させて断固として統制すれば、私はあなたの足もとにこの世を捧げるだろう。私とともに安らかに暮らさなさい。そうでなければ、私があなたを破壊するだろう。私はだれなのか。私は習慣だ」

この習慣は、まさに小さい実践によって作られます。そして運命を変える小さい実践は、私の人生の優先順位が何なのかによって変わります。人間を幸せにする真の優先順位はなんだと思いますか。聖書はこの事実を明らかに語っています。「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります」(ヨハネの手紙第三 1:2) すべての創造には創造原理があります。魚は水の中で生きていてこそいのちが維持できて、鳥は空を飛ぶときにはじめて自由を味わうことができ、木は地に根をおろすときにいのちとともに実を結ぶように、人間は神様とともにいるときに真に幸せである存在として創造されました。水を離れた魚が水でない他のどんなものでも満足できないように、神様を離れた人間は、神様との出会い以外には他のどんなものでも幸せであるはずがありません。それは、神様に会う瞬間、あなたのすべての問題は解決されるということです。どのように会えるのでしょうか。その道を知らせるのがまさに聖書で、聖書が語るその道が、まさにイエス・キリストです。多くのお金を持っていても不幸に生きる人がいて、少ないお金を持っていても幸せに暮らす人がいます。人間のたましいがうまくいく小さい信仰の選択が、まさに人間の幸せの最高の優先順位です。そのとき、はじめて、あなたのすべての点でも、健康であることも祝福になるのです。

## 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。  
私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。キリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。



イラスト\_シン・チョンウン

## 私は罪人ですか？

人の心理の中には、人間は罪人という意識が隠れている。だれかが教えたり、指摘したりするのではないのに、人間は自らの考えの中で自分の罪を発見している。それがまさに人間の遺伝にしたがって確認される原罪-神様を離れた罪であるが、これを活用して人間を拘束するのが宗教だ。宗教は罪を解決する道に案内するのではなく、その罪を揉み消す方法をいろいろな方法で考案して出すため、肉体を持った人間がその成就のために苦労しながら一生を捧げるようになる。そうするうちに、救いの価値を簡単に理解できなくて、とても高い値段を払ってこそ救われることができると勘違いするようにさせる。

普通、世の中の法廷で罪と言うときは、犯罪の成立要件を問い詰める。犯罪の成立要件ということは、犯した罪が法律上で成立するための条件で、構成要件該当性、違法性および、有責性すなわち責任があるのかなどだ。構成要件該当性とは具体的事実が犯罪の構成要件に該当することをいうのだが、具体的な犯罪事実が構成要件に該当すれば、構成要件該当性が認められる。これは、犯罪の種類が法にあれば、それは法によって制裁を受けるということだ。反社会的・反道徳的行為といっても、構成要件に該当しないとき、すなわち犯罪の法条項にあてはまらなければ犯罪とは言えず、法の構成要件に該当する行為だけを犯罪として見る。それで、ときどき重要な犯罪だと見なされるのに、法条項がない場合に処罰を受けないという不可思議な事が起きるようになる。

違法性とは、構成要件に該当する行為が法律上許されないことを言う。構成要件に該当する行為は違法だと言えるとしても、犯罪が成立するためには、違法性が認められなければならない。正当防衛によって、身体の危機を感じた人がやむをえず人を殺害した場合のように、構成要件に該当する行為でも、違法性が宥和されて犯罪にならない場合がある。有責性すなわち責任とは、不法な行為をした行為者に対する非難の可能性をいう。客観的には構成要件に該当して、合わせて違法な行為であっても、行為者に責任がない場合には処罰を受けない。たとえば、刑事未成年者・心神喪失者の行為・強要された行為は犯罪が成立しない。それで、ときどきニュースに精神患者が残酷な犯罪を行ったが、その犯罪を処罰できないという場合があるが、まさにこれだ。

人間は神様が無限の自由と祝福をくださったが、犯罪の構成要件である「しなさい、してはならない」の限界を越えたので該当性がある。善悪の知識の木から取って食べなくても食べられるものが多かったのに、その行為をしたので違法であり、その罪が自分だけでなく、人類全体に及ぼす影響を度外視したので有責性すなわち責任がある。世の中の法を通していても、人間の犯した罪の成立要件になるのに、肉体で拘束される位置ではなかったのに、時間の中に埋められたが、その結果、今、すべての人、すなわち私たち自らに直接、間接の影響を与えている。それで、この罪の救い主であるキリストが必要で、その方を通すことによってだけ、人間は自由と幸せを味わうことができる。苦しみを通さない自由な救い、それでこの知らせを福音と言うのだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ